

## 合同開催

# 第 20 回日本先進糖尿病治療研究会・第 18 回 1 型糖尿病研究会 ご挨拶

2020 年 11 月 21 日（土）22 日（日）、第 20 回日本先進糖尿病治療研究会および第 18 回 1 型糖尿病研究会を、九州・福岡県久留米市にて合同開催させていただきます。テーマは、“深めよう探求心、つなげよう未来へ！”とさせていただきます。日々進歩する糖尿病先進技術や研究について議論することで探究心を深め、社会に対し広く糖尿病に対する理解を広め糖尿病患者さんのよりよい未来につなげたい、という二つの思いを込めました。

久留米市は福岡県南の中心都市で、博多駅から新幹線で最短 14 分、福岡空港からの高速バスだと 1 時間弱のところに位置します。会場となる久留米シティプラザは、2017 年に創設された新しい建物で、今回の主会場；久留米座ホールは 317 席（升席 30 席）、日本文化を取り入れたユニークな造りです。繁華街の中心に位置しており、久留米自慢の食文化を存分に楽しめるよう、久留米市と連携し趣向を凝らしているところです。

日本先進糖尿病治療研究会は 2001 年にインスリンポンプ治療研究会として設立され、その後インスリンポンプだけでなく、広く糖尿病全般の最新医療を推進する研究会として活動してきました。一方、2003 年に発足した 1 型糖尿病研究会は、1 型糖尿病の基礎・臨床研究を通して、疫学、遺伝、自己免疫の病態解析や発症予防法開発に取り組んできました。両研究会は、2018 年以降合同開催となり、それぞれの特色や強みを相乗的に取り込むことで、より質の高い研究会へと発展しつつあります。

今回の合同研究会のトピックとしては、欧米の大規模臨床研究で光明が見えてきた 1 型糖尿病発症予防、“抗 CD3 抗体治療”についての特別講演を企画しています。また、1 日目午前には若い先生方が意欲的に参加できる YIA セッションを設け、夕にはさらにポスターセッションに引き続き懇親会で、ワイン（日本酒？）片手にとことん議論できるような、未来につながる交流の場を提供したいと考えております。また、合同シンポジウム、セミナー、ハンズオンセミナーなどを通して、日々の臨床に役立つ最新の知識と技術を多職種で共有し、市民公開講座では“糖尿病を知ろう”をテーマに、最近注目されているアドボカシーなどを広めていく場となるよう準備してまいります。

是非、私たちと想いを共有し、九州の地で大いに語り合しましょう。皆様のご参加をお待ちしております。

2020 年 3 月吉日

第 20 回日本先進糖尿病治療研究会  
当番世話人 中山 ひとみ  
(久留米大学医学部内科学講座 内分泌代謝内科部門)  
／筑後市立病院 内分泌・代謝内科

第 18 回 1 型糖尿病研究会  
会長 阿比留 教生  
(長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科  
先進予防医学共同専攻 内分泌・代謝内科学分野)